

2011 年度 入学 試験 問題

世界史 B

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この問題は、入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。なお、解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。また、折りまげたり、汚したりしないでください。記述解答用紙の下敷きにマーク解答用紙を使用することは絶対にさけてください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。
6. マーク解答用紙の受験番号および受験番号のマーク記入は、電算処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。

I つぎの文章 (A・B) は、メソポタミア文明・エジプト文明に関して述べたものである。よく読んで、下記の設問に答えなさい。(30点)

A 前3000年ころ、シュメール人によって、メソポタミア南部にウル・ウルク・ラガシュなどの都市国家が^(a)つくられた。それぞれの都市は独立しており、領土や交易路などをめぐって争いがくりかえされた。その結果、優勢な都市国家の支配層には富が集まり、壮大な神殿・宮殿などがつくられ、シュメール文化は繁栄した。しかし、周辺の異民族の侵入があいついだことで、シュメール人のメソポタミア支配は安定せず、しだいに都市国家はおとろえ、前24世紀ころ、^(b)アッカド人によって征服された。(1) 語系のアッカド人は周辺地域にも侵攻し、広い地域に覇権をおよぼしたが、その後、シュメール人の都市国家が独立を回復し、ウル第3王朝などが繁栄した。しかしウル第3王朝は異民族の侵入をうけて滅びた。

前19世紀、メソポタミアに侵入した(2)人により建てられたのが、^(c)バビロンを都とする古バビロニア王国(バビロン第1王朝)であった。この王国の^(d)ハンムラビ王はメソポタミアを統一し、強力な専制国家をつくった。^(e)

B 前3000年ころ、エジプトでは、上エジプトと下エジプトを統一した王国が成立した。前27世紀の第3王朝時代には、ファラオの権力は極めて強力なものとなり、メンフィスを都とする古王国が成立した。古王国の繁栄は前22世紀までつづいたが、その間、ピラミッドがいくつも建設された。ギザに残る壮大な^(f)3王のピラミッド(3大ピラミッド)もこの時代に建設されたものである。前21世紀から前18世紀までは、テーベを都とする中王国の時代であった。古王国が外部から孤立していたのと対照的に、中王国はシリアや^(g)クレタ島などとの通商を盛んにおこなったり、紅海沿岸地帯に進出したりした。その後、エジプトは、外部から侵入してきたアジア系の遊牧民によって支配された時期を経て、前16世紀に、エジプト人による再統一がなされ、新王国時代を迎える。この時代にはシリアにまで進出し、ミタンニヤやヒッタイトと抗争を重ねた。第18王朝の王アメンホテプ4世は、自らの名前を(3)とあらため、都をテーベからテル=エル=アマルナに移し^(h)宗教改革を断行したが、結局この改革は王の死で挫折した。新王国の隆盛は第19王朝の王(4)

の時代においてもなおつづいた。(4) はカデシュでヒッタイトと戦い、文献に残る最古の和議を結んだり、アブ=シンベル神殿をはじめ多くの神殿を建てるなどした。前7世紀前半、エジプトはアッシリアに占領され、その後、前525年⁽ⁱ⁾にアケメネス朝ペルシアに征服され、独立を失うこととなった。

設問1 空欄(1～4)に入るもっとも適切な語あるいは人名を答えなさい。

設問2 下線部(a)について。ウル、ウルク、またはラガシュについて述べたつぎの記述(あ～え)は正しいか。それぞれについて、正しければ①を、誤っている場合は②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

あ. ウルの王墓からは最古の円筒印章が発見されている。

い. ウルのジグuratの塔上には、守護神の月の神をまつる神殿があった。

う. ウルクは、ユーフラテス川下流域、ウルの南方に位置していた。

え. ラガシュの王ギルガメシュを主人公とする英雄叙事詩『ギルガメシュ叙事詩』において描かれた洪水伝承は、『旧約聖書』のノアの箱船の物語の原型となった。

設問3 下線部(b)について。このときメソポタミアの統一国家を樹立したアッカド人の王は誰か。その名前を答えなさい。

設問4 下線部(c)について。バビロンは、新バビロニア王国の都としても繁栄したが、その新バビロニア王国最盛期の王で、前586年にユダ王国を滅ぼしたのは誰か。その名前を答えなさい。

設問5 下線部(d)について。古バビロニア王国は前16世紀初めに滅んだが、その地域は、ザグロス山岳地帯から侵入した民族により支配されるに至った。この民族の名称を答えなさい。

設問6 下線部(e)について。ハンムラビ王の制定したハンムラビ法典について述べたつぎの記述(あ～え)は正しいか。それぞれについて、正しいければ①を、誤っていれば②を、マーク解答用紙にマークしなさい。

あ. シュメールの法慣習の特徴であった同害復讐原則が否定された。

い. 200条をこえる条文を有し、刑法集・勅法集・法学説・法概論の4部からなっていた。

う. 身分の違いによる刑罰の差を否定する先進的な内容を有していた。

え. ペルシアの古都スサで、石碑に楔形文字で刻まれた原文が発見された。

設問7 下線部(f)について。この3王はいずれも第4王朝期の王である。3王の名前をすべて答えなさい。

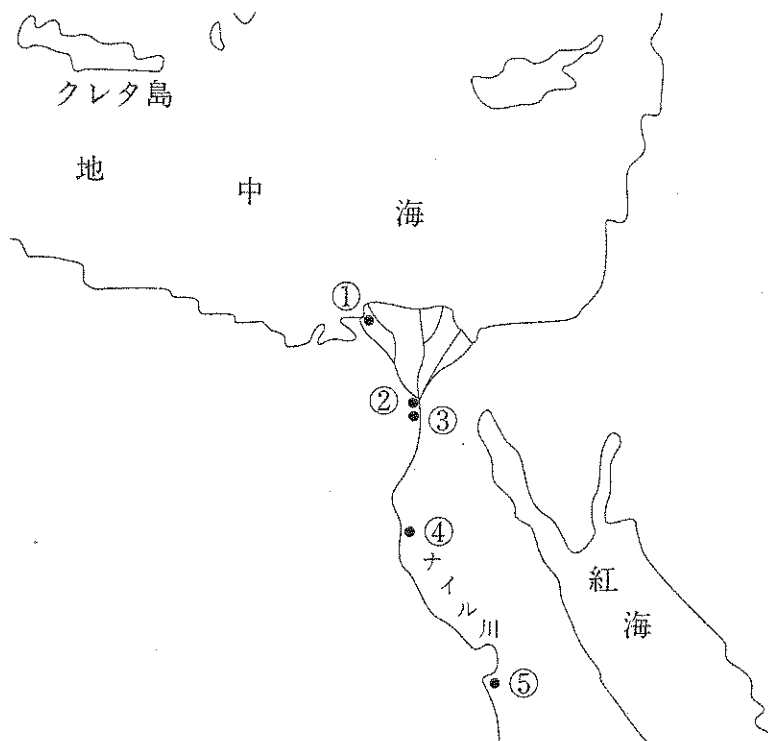
設問8 下線部(g)について。クレタ島を中心に栄えた文明をクレタ文明というが、このクレタ文明は、前1400年ころギリシア人の一派によって破壊された。ミケーネ文明の主要な担い手ともされる、このギリシア人の一派は何人と称されるか。答えなさい。

設問9 下線部(h)について。下の文は、第18王朝の王アメンホテプ4世が断行した宗教改革の内容を述べたものである。(ア)・(イ)に入る適切な神の名をそれぞれ答えなさい。

「アメンホテプ4世は、(ア)を主神とする多神教を否定し、(イ)を唯一神とする宗教改革をおこなった。」

設問10 下線部(i)について。前525年にエジプトを征服したアケメネス朝ペルシア帝国第2代の王は誰か。その名前を答えなさい。

設問11 二重下線部について。メンフィス・テーベ・テル=エル=アマルナの位置は、
下の地図上のどこであったか。それぞれ正しい場所を1つずつ選び、マーク
解答用紙にマークしなさい。



II つぎの文章 (A～C) は、食料の生産・流通の歴史に関するものである。よく読んで、下記の設問に答えなさい。(38点)

A 人類は、長い時間をかけて気候と風土に適した穀物の栽培方法を開発し、身体活動に必要なエネルギーを摂取する基軸作物を育んできた。

北魏・隋・唐の中国王朝では均田制度が導入されていたが、ここでいう「田」は雑穀などの畑作を意味していた。その証拠に唐代の税制である租庸調制では、成人男子は (1) 2石を納めることとされている。ところが五胡十六国時代以降、とりわけ宋代には長江一帯の開発がすすみ、水田造成や新しい稲の導入などにより生産力を向上させ、「蘇湖熟すれば天下足る」という言い方から分かるように長江下流域の米が中国の基軸作物と見なされるようになった。明の時代には土地台帳の^(a)整備に見られるように徴税制度が確立され、郷紳と呼ばれる大土地所有者が発言権を強めた一方、(2) と称される小作料不払い運動も起きるようになった。「湖広熟すれば天下足る」と言われ、米の主産地が長江中流域に移動したが、これは蘇湖が換金作物である綿花・桑・麻の栽培へと移行したのも一因である。

一方、西岸海洋性気候のヨーロッパ内陸部では麦が基軸作物であり、長い戦乱を経て11世紀から13世紀にかけての「大開墾時代」に農業生産が安定したといわれる。このとき開墾を積極的に展開した勢力の一つとして、もともと6世紀に(3) の丘に開設された修道院に始まるベネディクト派をあげることができる。これら教会・貴族などの領主が経営する荘園が、農奴と呼ばれる不自由身分の農民に貢納・賦役を課す形態が一般化した。のちには農民保有地から地代をとる形態もあらわれる。この時代に鉄製農具や水車も普及した。

アメリカ大陸においては、ユーラシア大陸とは異なる作物体系が築かれた。メキシコ高原では(4) が紀元前1500年頃から栽培されていたといわれる。インカ帝国の基軸作物も(4) であった。

B 食料は、異なる文明間の貿易にとって欠かせない物産であり、世界史を展開させる原動力ともなってきた。

^(b) 香辛料や嗜好品の貿易は紀元前からおこなわれていたが、とりわけ12世紀以降、

海域世界が発展する中で世界史的重要性を増していった。胡椒・ナツメグ・クローブなどの香辛料は、インドや東南アジアでのみ栽培されていたものが多く、世界的に珍重された。胡椒はインド原産であるが、後二者は（ 5 ）諸島原産であり、（ 5 ）と外界との交易を中継する位置にあったジャワ島のクティリ王国とシンガサリ王国、次いで13世紀末に元軍を撃退して建国された（ 6 ）王国は、ジャワ島内部での農業発展もあって大いに繁栄し、東南アジア他地域の国家と対抗した。^(c)

15世紀以降、航海術を発達させた西ヨーロッパ諸国が進出してくると、港市国家と呼ばれるこれら諸国の勢力圏は激変した。ポルトガルが1511年にマラッカを占領してのちは、スマトラ島北端の（ 7 ）王国や西ジャワのバンテン王国などのイスラム国が栄えた。^(d)しかしオランダ東インド会社は1623年のアンボyna事件を契機として南シナ海・東シナ海域の支配権を確立した。さらにオランダは台湾をも領有し、ヨーロッパ世界との貿易を掌握して膨大な利潤をあげるようになった。

ヨーロッパ史においては「危機の17世紀」といわれるが、この海域の貿易に関しては世紀前半まで、銀の流入によって活況がつついた。しかし17世紀後半には銀の流入量も激減、胡椒価格も競争によって暴落し、アジア貿易の中心はイギリス東インド会社が掌握するムガル王朝下のインドへと移っていった。インドやスリランカ、中国から輸入される茶葉が、イギリスにアフタヌーンティーの習慣をもたらした。イギリスやフランスでは、コーヒーハウスやカフェが18世紀には上流階級の情報交換の場となって、新聞などのメディアの発達を促し、市民革命を準備した要素の一つとなった。

C 食料生産をめぐる土地制度には、その時々には繁栄している地域が周辺的地域を搾取する構造がしばしば埋め込まれ、現代に至る社会問題の起源となることがある。

18世紀から19世紀にかけて、人口増による穀物需要の増加も手伝って、西ヨーロッパでは大地主による小作地・共用地の囲い込みが進展し、農民人口は減少していった。根菜・牧草栽培によって養われた家畜の糞を肥料として穀物を生産する（ 8 ）農法が休耕地を不要とし、畜力により労働集約農業が不要になったことも、少数の独立農民による大規模耕作を可能にした。しかし一方、東部ドイツのエ

ルベ川以東では、領主層が農民を土地にしばりつけ、輸出用穀物を作らせる（ 9 ）制を形成した。より東方のロシアでも農奴制が存続し、1861年に皇帝（ 10 ）が農奴解放令を発したものの、農村共同体（ミール）は維持された。

一方、西ヨーロッパ諸国によって植民地化された地域では大交易時代以後、現地住民などの労働力を酷使して商品作物を栽培する制度が様々な形態で導入された。オランダはジャワ戦争以降、現地に強制栽培制度を作って、コーヒー・藍などを栽培させた。西インド諸島では、すでに17世紀から（ 11 ）一品目を主として栽培するプランテーションが導入され、地域経済のモノカルチャー化がもたらされた。ポルトガルが支配するブラジルでは16世紀後半からプランテーションが始まり、そのための労働力としてアフリカから奴隷が導入された。こうしてスペイン支配地域も含めてラテンアメリカでは一種の身分制が構成され、大土地所有者が優位にたつ社会制度は、19世紀にラテンアメリカ諸国が独立したのちも、基本的には維持された。20世紀になると各地で民衆蜂起が繰り返し起こり、たとえば1911年から始まるメキシコ革命の過程では農民出身の指導者も登場した。しかし改革は不徹底^(f)に終わり、外国資本と結んだ少数の富裕者（買弁資本）のみが大きな利益を生む社会構造は温存された。

設問1 空欄（1～11）に入るもっとも適切な語句を答えなさい。

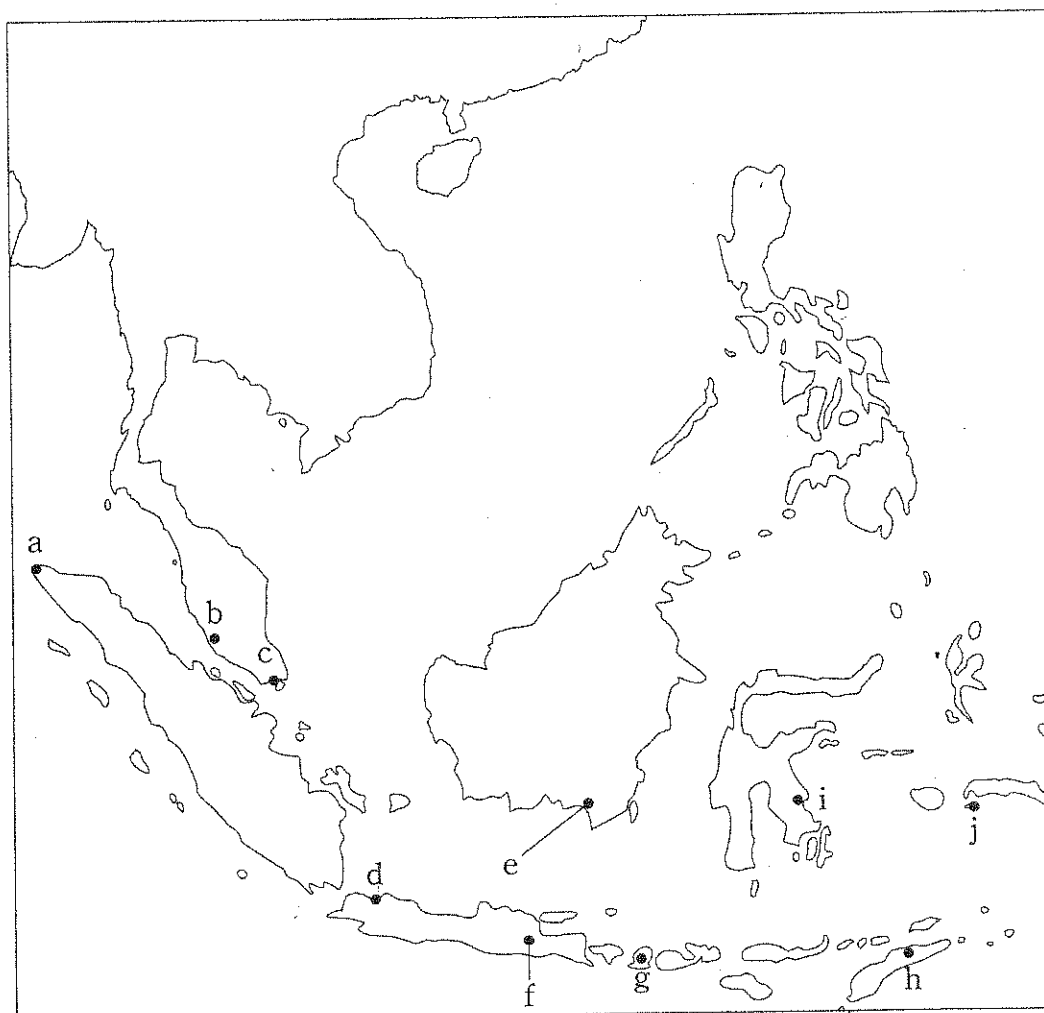
設問2 下線部(a)について。この土地台帳は何と呼ばれたか。その名称を答えなさい。

設問3 下線部(b)について。紀元前のインド洋貿易で取引されローマ帝国でも珍重された、亜熱帯のクスノキ科の樹皮からとれる調味料を何というか。その名称を答えなさい。

設問4 下線部(c)について。スマトラ島やマレー半島などの港市国家が連合して形成し、宋王朝に朝貢して14世紀まで存続した国家を何というか。その名称を答えなさい。

設問5 下線部(d)について。なぜポルトガルのマラッカ占領が、バンテン王国などの繁栄をもたらすのか。下記【 】内の海峡名のうち1つ以上を用いながら、25字以内で説明しなさい。【マラッカ海峡・スンダ海峡・マドゥラ海峡】

設問6 本文Bの文中に登場するシンガサリ・マラッカ・アンボイナの位置は、下の地図上のどこか。それぞれ正しい場所を1つずつ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。



設問 7 下線部(e)について。17 世紀前後の銀の流通に関する以下の記述のうち、正しいものを 1 つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ① ポトシ銀山を抱えるメキシコで鑄造された銀貨は、主要な決済通貨として東シナ海・インド洋貿易において流通した。
- ② 日本の佐渡や石見から産出された銀は 17 世紀前半に南シナ海貿易に供給されたが、江戸幕府の鎖国政策に伴って銀の海外供給は停止した。
- ③ スペインはフィリピンを支配して以降、アカプルコ経由で大量のメキシコ銀をフィリピンに流入させ、中国の絹などと交換するようになった。
- ④ ヨーロッパでは 17 世紀後半には金が基軸通貨の地位を占めるようになり、交換比率で不利な銀貨にのみ頼ることは国家間競争で遅れをとることにつながった。
- ⑤ ラテンアメリカでは先住民を酷使するアシエンダ制によって採掘・精錬された銀が支配層に莫大な富をもたらし、貧富の格差をさらに助長した。

設問 8 下線部(f)について。メキシコ 1917 年憲法には部分的に農地改革を目指す条項が入ったものの、農民指導者サパタらの期待からすると後退した内容であった。この憲法を制定した大統領は誰か。その名前を答えなさい。

III つぎの年表は、西暦 600 年頃から 1500 年頃までの出来事を記載したものである。
よく読んで、下記の設問に答えなさい。(32 点)

年代	ヨーロッパ	オリエント・中央・西アジア	インド・東南アジア	北・東アジア
600	この頃から、イスラーム教徒の東ローマ帝国への進出が進む	(a) 622 ムハンマドがメッカからメディナに移り、イスラーム教を創始 642 (1)の戦いで、アラブ軍がササン朝ペルシア軍を破る	7世紀 [あ]	618 隋が滅び、唐が中国を統一する 676 新羅が朝鮮半島を統一する
700	711 西ゴート王国滅亡 756 ピピンがラヴェンナ地方などを教皇領として寄進する	732 トゥール・ポワティエ間の戦い 750 アッバース朝成立	750頃 ジャワ島でシャイレンドラ朝成立 751 タラス河畔の戦い	733頃 玄宗が地方行政区画制度である、(2)制を充実させる 755 安史の乱がおこる
800	この頃ノルマン人の活動が活発化	875 中央アジアのイラン系イスラーム王朝である、(3)朝が成立	802頃 [い]	875 黄巢の乱がおこる
900	911 ノルマンディー公国成立 962 オットー1世が神聖ローマ帝国の皇帝になる	この頃、トルコ系イスラーム政権カラ=ハン朝が成立	937 [う] 973 南インドにチャールキア朝再興される	907 唐が滅び、五代十国時代がはじまる 960 中国に宋が建国される
1000	1016 デーン人の王(4), イングランドを征服 1054 キリスト教会が東西に分裂する 1066 ノルマン人がイギリスにノルマン朝を開く 1077 カノッサの屈辱 (c) 1096 第1回の十字軍遠征がはじまる	1038 セルジューク朝がおこる 1055 セルジューク朝がバグダードに入り、西アジアの支配をはじめ 1071 マンジケルトの戦い 1076 ムラービト朝、ガーナ王国征服	1019 ガズナ朝、カナウジ占領 1044 ミャンマーでバガン朝が成立	1004 澶淵の盟 (b) 1069 宋で王安石の改革がはじまる 1085~ 司馬光が新法を廃止
1100	1122 教皇カリクストゥス2世と皇帝ハインリヒ5世の間でヴォルムス協約が結ばれる	1157 セルジューク朝が分裂 1175 ゴール朝のインド進入開始	12世紀前半 スールヤヴァルマン2世により、アンコール=ワットが建設される	1115 金が建国される 1125 遼が滅びる

1200	1215 イギリス、マグナ=カルタ制定		1206 奴隷王朝成立	1206 チンギス=ハンがモンゴルを統一する
	(d) <u>モンゴル民族の進出はじまる</u>			
	1243 モンゴル人がロシアにキプチャク=ハン国を建国	1258 モンゴル人がアッバース朝を滅ぼし、イル=ハン国を建国	1257 [え]	1266 ハイドゥの乱がおこる
	1271 マルコ=ポーロ出発		1275 大都到着、(5) に仕える	
1295 イギリス、模範議会開催	1299 トルコ系部族がオスマン帝国を建国	1287 元がパガン朝に侵攻する	1279 南宋が減びる	
1300	1303 教皇権没落の端緒となった(6) 事件がおこる	1308 ルーム=セルジューク朝滅亡	1320 トウグルク朝が成立	1313 仁宗が科挙を復活させる
	1339 イギリスとフランスの間に百年戦争がはじまる	1330 チャガタイ=ハン国が東西分裂	1336 南インドにヴィジャヤナガル王国成立	
	1348頃 ベストの大流行がはじまる	1366 オスマン帝国、セルビア・マケドニア・ブルガリア征服	1347 [お] 1351 シャムにアユタヤ朝成立	1351 紅巾の乱がおこる
	1378 ローマ教会がローマとアビニョンに分裂する	1370 ティムール朝成立		1368 洪武帝が元を滅ぼして明をおこす
	1381 ヴェネツィア、ジェノヴァを破り地中海貿易掌握	1396 ニコポリスの戦い	1398 ティムール、インドに侵入しデリー占領	1392 高麗を滅ぼして李氏朝鮮が建国される
		1402 アンカラの戦い		
1400	1419 フス戦争	(e) <u>1405 明の将軍、鄭和の南海遠征がはじまる</u>		
		1444 オスマン帝国、ハンガリー・ポーランドを破る	1414 トルコ系のサイイド朝が建国される	1421 北京に遷都
		1453 オスマン帝国によって、コンスタンティノープルが占領され、東ローマ帝国が減びる	1451 アフガン系のロディー朝が建国される	1449 土木の変
	1480 モスクワ大公国、モンゴル支配より独立	1466 オスマン帝国、アナトリア征服		1487 タタルのダヤン、内モンゴルに覇権確立
	1492 スペインがグラナダを占領し、イスラーム勢力駆逐運動である(7) が完了する			
1492 「新大陸」の発見				

設問1 空欄(1～7)に入るもっとも適切な語句を答えなさい。

設問2 下記①～⑥のうち、年表中の空欄〔あ～お〕にあてはまる内容として適切なものを、それぞれ1つずつ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ① モンゴル人の雲南侵入に押されて南下したタイ人が、インドシナ半島にスコータイ朝をたてる。
- ② デカン地方を支配し、周囲のヒンドゥー系王朝と抗争したバフマン朝が成立。
- ③ 南北に分裂していた真臘が再統一され、アンコール朝(クメール王国)が成立。
- ④ ラオ人によってランサン王国が建国される。
- ⑤ 南詔滅亡後、白蛮系豪族が雲南に大理を建国する。
- ⑥ スマトラ島のパレンパンを中心に、シュリーヴィジャヤ王国が成立。

設問3 下線部(a)について。ムハンマドが創始したイスラーム教は世界三大宗教の1つである。「イスラーム」という言葉の意味を5字～12字で、そして断食月にあたるイスラーム暦第9月の名称を、それぞれ答えなさい。

設問4 下線部(b)について。王安石は宰相となり、新法を実施した。その新法には、各地の特産物を政府が買い上げ、不足地で転売する政策があった。この政策は何法と呼ばれているか。その名称を答えなさい。

設問5 下線部(c)について。第2回(1147~1149)・第5回(1228~1229)・第7回(1270)の十字軍遠征に関する説明として正しいものを、下記①~⑤の中からそれぞれ1つずつ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ① ドイツ皇帝フリードリヒ2世の外交によって聖地を一時的に回復した。
- ② ドイツ皇帝・フランス王が統率して陸路を東進し、イスラーム勢力の反撃に対抗しようとしたが失敗に終わった。
- ③ サラディンの進出に対抗し、ドイツ皇帝・イギリス王・フランス王らが参加するも聖地を奪還できなかった。
- ④ 海路チュニスを攻撃したが、失敗に終わった。
- ⑤ フランスのルイ9世の主導でエジプトを攻撃したが、敗退した。

設問6 下線部(d)について。モンゴル帝国が駅伝制を整備し、南宋を滅ぼしたことで、東西交流の主要な3つのルートを掌握することとなった。これら3つのルートは何の道と呼ばれているか。すべて答えなさい。

設問7 下線部(e)について。諸国に朝貢を促すために派遣された鄭和は、指揮官として、東南アジア諸国やインド洋・アフリカ東海岸まで遠征した。その当時、明は国内経済の復活と治安の安定のため、貿易を朝貢貿易に限定し、中国商人の対外貿易と渡航を禁止していた。この政策は何と呼ばれているか。その名称を答えなさい。